



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2004.04.26 No. 27 - 96

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

ATSとAGEで、千歳に行ってきました

2004年3月18日に新千歳空港でATC-Pilot交流会が開催されました。日乗連ALPA-Japanからは、ATS委員会とAGE委員会が参加して基調講演を行いました。主催は千歳管制隊で、管制隊、空港事務所関係者、空自パイロット、エアラインパイロットなど幅広い参加がありました。

1: AGE委員会講演

AGE委員会は、ILSの整備と誤作動について講演を行いました。ON TESTのILSはNOTAMで使用が禁止されますが、不用意に使用すると誤指示を起こす可能性があります。ICAO、FAAからは注意喚起の勧告が出されており、今回はこれを紹介するプレゼンテーションを行いました。

空港関係者からは、ILS全般に関する質問が多数寄せられ、RJCC 01R LLZコースの乱れ、積雪時のILS除雪などについて意見交換が行われました。講演内容、意見交換については、近く発行されるALPA-Japan Technical Informationをご覧ください。



2: ATS委員会講演

ATS委員会からは、RJCC 19LのVertical Separationについて講演を行いました。19LのFinalでは、自衛隊機が2500ft、民航機が2000ftでクロスします。Vertical Separationは500ftしかなく、TCAS RAが作動する可能性すらあります。RAに関する規定が厳しくなったことを紹介し、500ft Separationを拡大して頂けないか検討を依頼しました。自衛隊からは、ただちに問題を解決することは難しいが、検討を始めるとの回答を頂きました。

3: LLZ 01Rコース変動

RJCC 01RのLLZについて、コースが乱れるというキャプテンレポートが多数寄せられています。この問題について質問したところ、管制技術官から詳しい説明がありました。6月にLLZが二周波数化され、コース変動は解消する予定です。技術的詳細については、別にTechnical Informationを発行しますので、そちらをご参照下さい。

